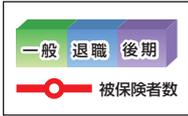
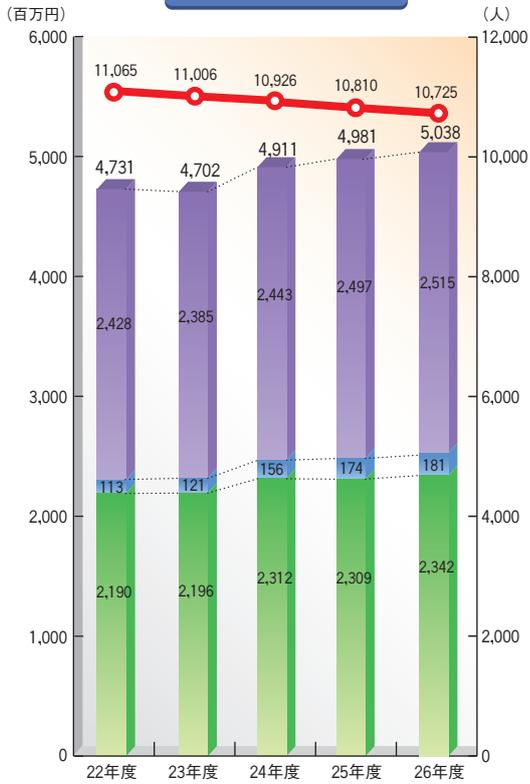


上三川町

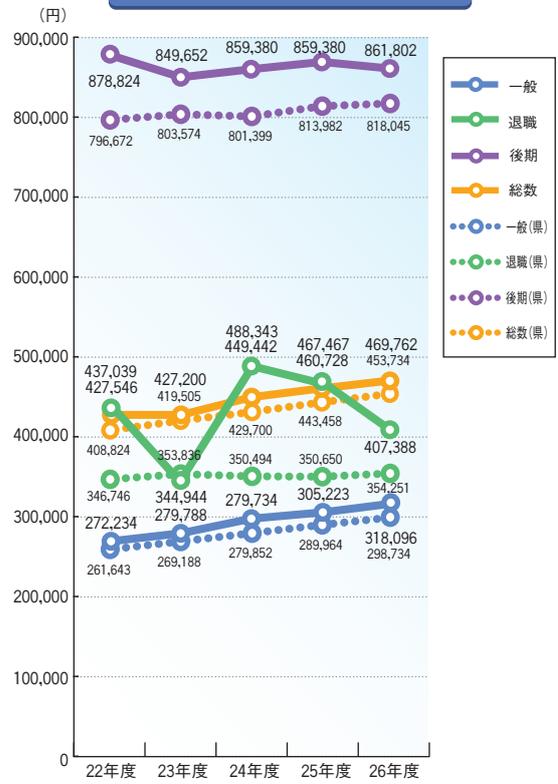
上三川町



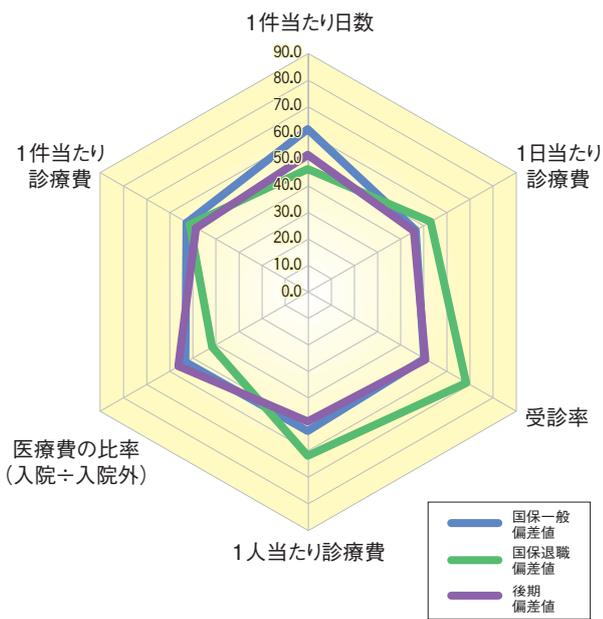
医療費の推移



1人当たり医療費の推移

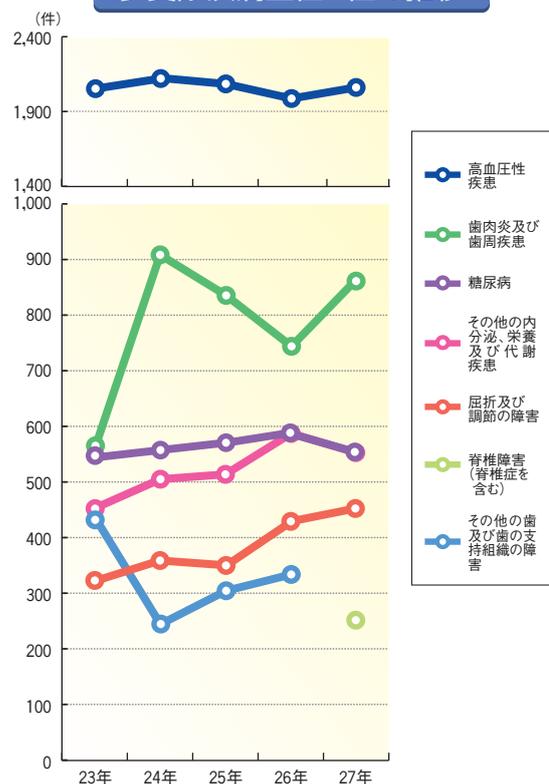


平成26年度 3要素と医療費諸費 (県平均との比較)

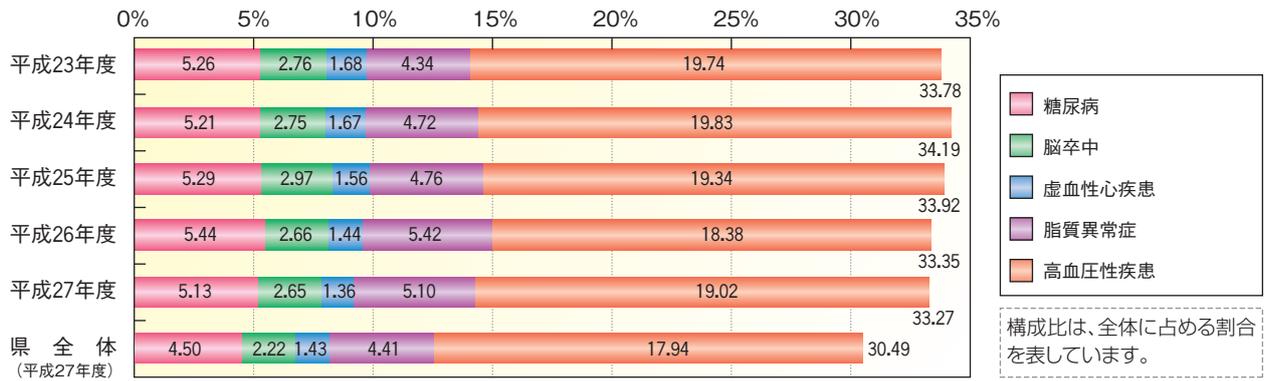


レーダーチャートでは、全ての軸のスケールは偏差値として統一されています。栃木県(平均)が50となるため、値が50の頂点を結ぶ正六角形が栃木県のレーダーチャートになり、当該地域の傾向が正六角形のずれ具合として把握できます。

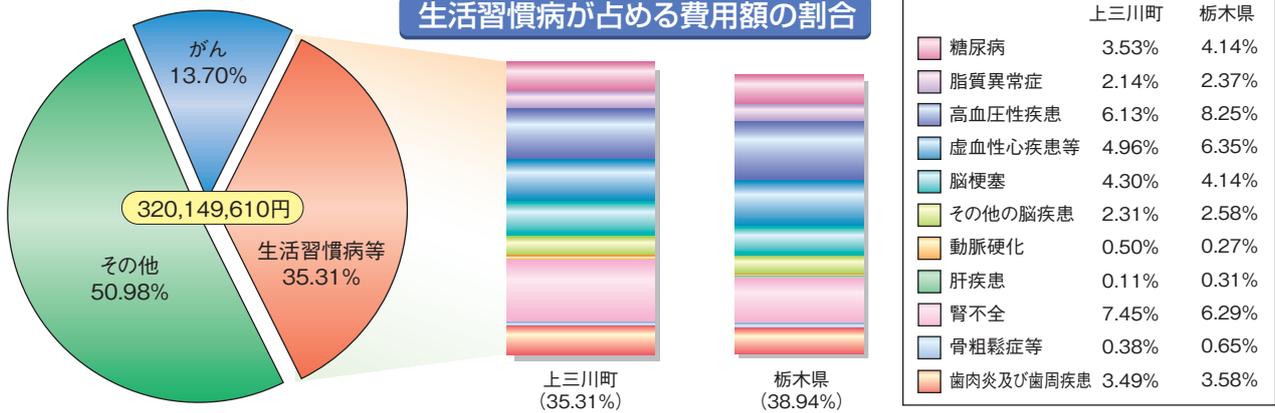
多受診疾病上位6位の推移



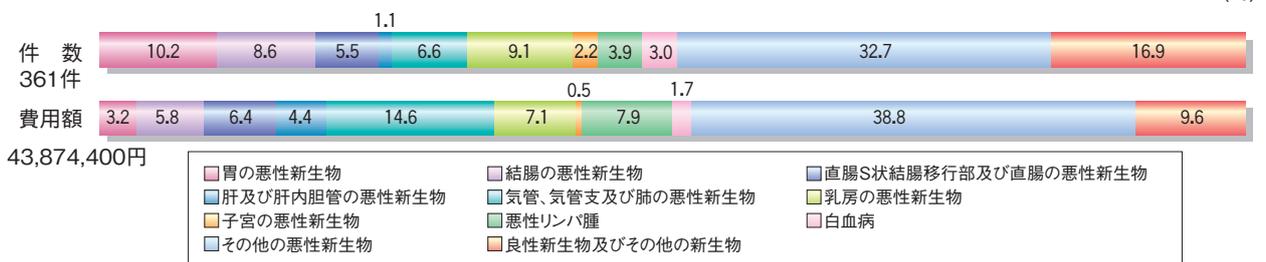
生活習慣病5年間の件数の推移(構成比)



生活習慣病が占める費用額の割合



がんの件数・費用額割合(部位別)



上三川町の状況

★医療費の状況及び被保険者数

平成26年度の医療費(療養諸費)の推移をみると、一般2,341,505千円(101.4%)、退職181,288千円(104.0%)、後期2,515,168千円(100.7%)で、全体では5,037,961千円(101.2%)と増加している。()は前年度との比較。

平成26年度平均被保険者数は10,725人で、内訳は一般7,361人、退職445人、後期2,919人である。前年度比較すると全体で99.2%と減少している。

また、平成26年度の1人当たり医療費の推移をみると、総数は469,762円(9,034円増)、一般は318,096円(12,873円増)、退職は407,388円(60,079円減)、後期は861,802円(7,452円減)である。()は前年度との比較。

3要素(受診率、1件当たり日数、1日当たり診療費)と医療諸費の県平均との比較をみると、一般は、1日当たりの診療費以外の諸率がいずれも高く、退職は1件当たりの日数、医療費の比率以外がいずれも高い偏差値となっており、後期は、1件当たりの日数、受診率、医療費の比率が高い偏差値となっている。

★疾病の状況

平成27年5月診療分の件数が多い(多受診)疾病は、1位高血圧性疾患、2位歯肉炎及び歯周疾患、3位糖尿病、4位その他の内分泌、栄養及び代謝疾患、5位屈折及び調節の障害、6位脊椎障害(脊椎症を含む)で、中でも5位の屈折及び調節の障害は、平成23年と比べ件数は1.40倍、費用額は1.50倍となっている。

また、5大生活習慣病(糖尿病・脳卒中・虚血性心疾患・脂質異常症・高血圧性疾患)の件数の推移(構成比)をみると、県全体と比べ5疾病全体の構成比は高く、その中でも高血圧性疾患の占める割合が高い比率となっている、一方、虚血性心疾患の構成比は年々減少している。

生活習慣病が占める費用額の割合では、平成27年5月診療分の総費用額が320,149,610円で、がんが13.70%、生活習慣病関連が35.31%を占めている(県全体 がん11.90%、生活習慣病関連38.94%)。費用額の占める割合が高い疾病は、腎不全7.45%、高血圧性疾患6.13%、虚血性心疾患等4.96%、となっている。

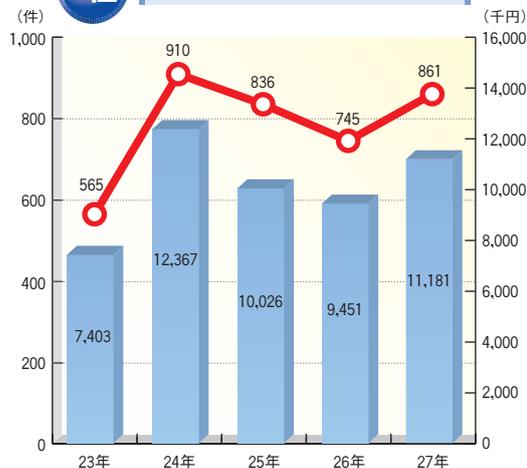
がんの部位別の件数及び費用額の割合をみると、その他の悪性新生物、良性新生物及びその他の新生物に分類されるものを除き、件数では、胃の悪性新生物、費用額では気管・気管支及び肺の悪性新生物が高い割合となっております。

多受診疾病 上位6の年次推移

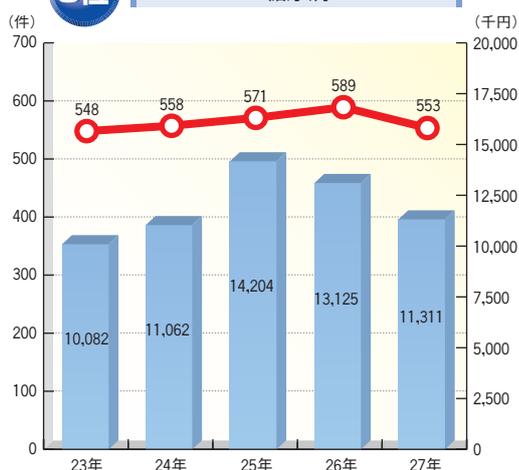
1位 高血圧性疾患



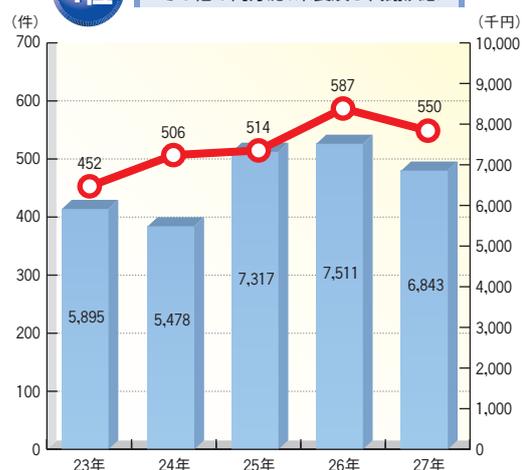
2位 歯肉炎及び歯周疾患



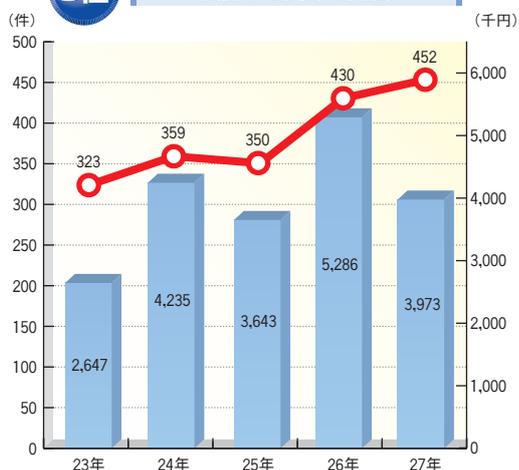
3位 糖尿病



4位 その他の内分泌、栄養及び代謝疾患



5位 屈折及び調節の障害



6位 脊椎障害(脊椎症を含む)

